

開封使

正院書中

何之通



明治六年二月八日

一ノ三十九ウ

第四号

佛朗西バルコウヤル

フロスヘル、フーシ

亞米利加華盛頓府

アルボルトヒエーラー

北海道札幌庭下学校落成式之文東京

之町のくま経教育として開拓多務の学

課師貞夫とて雁と海を申す月何漸く

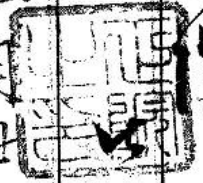
司石吏

③

要是向生徒階梯之為語學界普通
學教師也而為名譽也其國地亦多
多一月六月三十日正六月間多德定額
第一四月十日正六月十日正六月十日
明治六年一月十九日 開拓使官黒田清隆

正定

伺之通



中

明治六年一月廿七日

第六号

諸省於四對金料科 取極幸勞
之向由是是以米統之日法省
納付可致有是者建相或長村常
使於之同様可也其得自一月九日
迄達有之於第九号府縣
告之趣之之之收備北海首及
様太之儀之租稅之定額